ICT 夢コンテスト 2026

ICT 活用実践事例集 原稿執筆要領

2026 年 11 月 6 日

一般社団法人 日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）
ICT 夢コンテスト事務局

1. はじめに

このたびは、「ICT 夢コンテスト 2026」にご入賞されまして、おめでとうございます。

本書は、ご入賞いただきました方が、「ICT 活用実践事例集」に掲載する原稿をご執筆いただく際に、ご留意いただきたい事項をまとめたものです。ご一読いただき、ご対応・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

２．文書形式の基本要件

文書の形式、ページレイアウトおよび印刷に関する基本的な要件は以下の通りです。

□形式：A4 サイズ、横書き、2 段組み

□全体のページ数：2 ページ

□印刷：カラー印刷

3. 原稿の構成要素

原稿には以下の構成要素を含んで執筆してください。

□実践概要：5 行以内（約 125 文字）での簡潔に記述

□本文：実践の目的・目標、手段・内容、評価・成果、まとめ・課題を含む構成で記述

□指導案（任意）：記載方法等は下記項目「5.」を参照

□補足資料（任意）：実践内容を補足する Web URL や QR コードがあれば掲載

□参考資料：参考にした資料があれば出典を明記

4. 図表、写真の取り扱い

図表や写真を使用する場合のガイドライン以下の通りです。

□高解像度で鮮明な画像の使用

□原稿内での図表や写真には、番号と表題（キャプション）を記載

番号と表題（キャプション）の位置は以下の通り

表１　地域の人口



図１　実験のグラフ





写真１　授業の様子

□画像ファイルは別途提出（jpeg 形式や png 形式）

5. 本文の体裁に関する詳細

原稿の体裁とスタイルのガイドラインは以下の通りです。

□段組：タイトル部分は 1 段組、本文は 2 段組

□余白設定：上下左右に 20 ミリ

□文字・行数設定：1 ページ目は 25 文字×30 行、2 ページ目は 25 文字×50 行

□フォントスタイル：日本語テキストには MS 明朝、英数字には半角 Century を使用

□表題部の文字設定（サイズ、位置揃え、文字数制限など）

・タイトル：12 ポイント／MS ゴシック（太字）／中央揃え／40 字以内

・サブタイトル（省略可）：10.5 ポイント／MS ゴシック／中央揃え／30 字以内

・著者所属団体、著者役職、著者名：9 ポイント／MS ゴシック（太字）／複数名併記可

・キーワード：9 ポイント／MS ゴシック（太字）／キーワードの区切りは「、」を使用

□本文の文字設定

・見出し：9 ポイント／MS ゴシック（太字）

・本文：9 ポイント／MS 明朝（太字）

□見出しの階層構造と表記法

1.・・・・・・・・・・・・・・・・（全角 MS ゴシック（太字）、9 ポイント）

1.1 ・・・・・・・・・・・・・・（半角 MS ゴシック（太字）、9 ポイント）

(1) ・・・・・・・・・・・・・（半角 MS ゴシック（太字）、9 ポイント）

a) ・・・・・・・・・・・・・（半角 MS ゴシック（太字）、9 ポイント）

□本文の記述スタイル（文体、句読点のルールなど）

・文体は「である調」を使用

・読点は「、」、句点は「。」を使用

・半角カタカナは使用不可

・段落の先頭は 1 字分を字下げ

・第一階層の「見出し」（「1.」など）の前には空白行 1 行を入れる

・無用な空白行は入れない

□本文にボックス形式の指導案を入れる場合の記載方法

・フォーマットの項目を参考に【本時の学習内容】【指導略案】を記載

・ボックス内は、8 ポイント／MS 明朝／見出し等含め 17 行以内

・表を使用する場合には学習活動等を簡潔に記載、項目名は任意（表の使用は任意）

【本時の学習内容】
・指導目標：○○○

□参考文献と引用のスタイル

・参照資料としての Web URL は、「https://」もしくは、「http://」から表記してください。

・QR コードを原稿に掲載する場合は、QR コードの画像データを別途提出してください。

□参考文献リストのスタイル

・参考文献のスタイル: 著者の氏名. 文献のタイトル. 出版社, 出版年.

7. 原稿の最終確認

ご執筆いただいた原稿は、基本的に、ご執筆いただいた状態を版下原稿にして「ICT 活用実践事例集」に掲載いたしますので、原稿の最終確認はご執筆者ご本人で慎重に実施してください。

8. 原稿の提出

□文書形式：Word ファイル（docx 形式）

・ファイル名：英字表記の氏名（例：taro_yamada.docx）

□原稿内で利用した画像データファイル（jpg 形式 or png 形式）

・ファイル名：図表番号（例：図２.png）

9. 編集と製本等に関するご留意点

□事務局では、提出いただいた原稿が指定されたガイドラインに従っているかを確認し、必要に応じて、レイアウトの微調整や文体の統一、図や表の配置の見直し、言語的な修正などを行うことがあります。このプロセスは、読み手にとってよりアクセスしやすい形で提示されるために実施いたします。ご執筆者の意図が変わるような修正がある場合はご執筆者に確認させていただきます。

□ご執筆いただいた原稿は、「ICT 活用実践事例集」として印刷製本や PDF データ等とし、廉価もしくは無償で教育現場に向けて広く提供する予定です。

□印刷発行された「ICT 活用実践事例集」は、ご執筆いただいた方（連名者がいらっしゃる場合はそれぞれの方）には１冊を無償で差し上げます。

10. 著作権に関する事項

□実践事例に含まれるすべての内容（テキスト、写真、画像など）について、必要な著作権者や著作隣接権者からの適切な許諾を事前に取得していることが必要です。これには、第三者の作品を引用または再現する場合も含まれます。

□著作権、著作隣接権、肖像権などを侵害する行為が判明した場合、当会はこれらの侵害から生じる一切の責任を負いかねますので、ご注意ください。

□執筆された実践事例の著作権は、執筆者に帰属します。ただし、「ICT 活用実践事例集」に掲載された作品に関しては、当会が無償で自由に使用（複製、公開、展示、翻訳、再販、配布、イベント等での発表など）する権利を持つものとします。この使用権は、国内外を問わず、永続的に適用されるものとします。

□原稿には、第三者による情報の再利用や誤用を防ぐため、問題とならない必要最低限の個人情報のみを含めるよう留意してください。特に、個人を特定可能な写真やビデオ素材は、適切な許可がない限り使用を控え、個人が識別できない形でご利用ください。